

五
イ
方 募
入 価 法 入
札 格 決
發 競 定
行 爭 の

当も各
ての申
るか込
。らみ
その
のう
応ち
募応
額募
を価
順格
次の
割高
りい

四
發 行 方
法

用 振 替
等 条
項 及
の 適

振 律
法 項
の び

の 法 律
及 び
根 拠

發 行
行 法
の び

號 名
稱 及
記

一 二 三

価一を場で競争う札価振の以律社条九特
格国定特あ争入。へ格替適下へ平債第年別
競債め別つ入札に以を機用「振替法」
争市る参て札發によ下競争は日本銀行
入場も加、と行「価に付けるもの
札特の者財同「と
發別にご務時「と
行參よと大に「
「加るに臣行「以
と者發応がわ。」
い・行募各れ及
う第へ限國るび価「
。I以度債入価格「
非下額市札格競
い入の規

○平省令財務省告示第三百五十八号
平成二十二年十月二十日第五条第十一項の規定に基づき、大藏省告示第三百五十九号
平成二十二年十二月二十日施行した割引短期国債、昭和五十七年大藏省告示第三百五十九号
平成二十二年十二月二十日より告示する。
國庫短期証券（第一百四十五回）

財務大臣 野田佳彦

十 一	九 八	七	六	
		口 イ	口 イ	口
發	振額最	払	發	
發	替低行	争非者特國入	入	行争非者特國
行	額入	入	入	入
行	債・別	債札格	債札格	債・別
價	單面	札格第參市發競	札格第參市發競	札格第參市
格	位金	I加場行爭額	I加場行爭額	I加場
平	す額の振	千十二	額億額	込募各
成	るの記替	七二兆	面二面	み限國
二	。整載法	百万三	金千金	の度債
十	数又の	五千三	額万額	応額市
二	倍は規	億千二	で円で	募の場
年	の記定	千六百	千二	額範特
十	金録に	五百六	七兆	を圃別
月	額はよ	十円十	百三	割内參
二	に、る	二十六	七千	りに加
十	よ最振	万億	億二	当お者
日	る低替	三千	二百	ていご
	も額口	千九	九	るてと
	の面座	円	十	。各の
	と金簿	百	二	申応

十
六
十
五
十
四
十
三
二
十
二
口
イ

払者入場元償
込札所金還
期参支金
日加払額

償行争非者特国
還入価・別債
期札格第参市
限発競I加場

入価
札格
発競
行争

平財日額償当た平
成務本面還ただ成
二大銀金金るし二
十二臣行額をと、十
二から百支き償三
年円払は還年
十月通知にう、期十
月つ。そが月
二月をきの銀二
十日受け百翌行十
日円當休日
た者業業
業日
にに

十額募十額
八面価八面
錢金格錢金
九額八額
厘百厘百
円以円
に上に
につのつ
きそき
九れ九
十九ぞ十
九れ九
円の円
八応八